
ライフメーカー

柚希

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ライフメーカー

【コード】

N3910BA

【作者名】

袖希

【あらすじ】

冴えない男がタイムマシンを手に入れ過去に飛び周り今の人生を変えようとのお話です。

プロローグ（前書き）

小説とか書いたことないので幼稚な文章ですがお願いします。
適当に思い付きで書いておりますので矛盾などがございましたら申し訳ないです。

ブログ

カチャカチャ・・・

赤目「ついにできたぞ！！！！これで・・・」

俺の名前わ岩名卓哉。

今年で三十歳。

サラリーマン

彼女出来たこと無い!!年齢

友達だっていない。

趣味はネットゲとパチンコで休日はパチンコ、平日は暇さえあればネットゲ。

底辺な人生だ。

いつものように仕事から帰宅してすぐにPCを付けた。

もちろんネットゲするために。

今日も愛しい柚希ちゃんに会いに行くぞー！

ログイン後

あれ？今日は赤目さん一人かー。

卓哉「おはよう」

赤目「お、おはようさん

^^

「ちよつど良いところに来たな。」

卓哉「え？なににー？」

赤目「お前の人生変えられる物が出来たんだよ」

卓哉「どついつこと？モニターから彼女が出て来れるようになる装置とか？w」

赤目「そんなんじゃないよ。」
「とりあえずお前んち送っとくわあ」

卓哉「ういっい」

〜数日後〜

おっ 荷物届いてるやん。

なんだっ たんだろ。

さっそく開けてみたけど使い方わかんないぞ

説明くらい書いておけよな

今日は袖希ちゃんも赤目さんもいるかな？

お、居た居たー

卓哉「おはよう」

赤目「おはようさん」

袖希「おはよう。おひさー」

赤目「アレ届いたん？」

卓哉「届いたけど使い方がわかんない><」

赤目「どうせわからないだろうしこっちで説明しようってな^^」

袖希「え？なにになにー」

「なんかあげたん？ズルイ。私にも……」

赤目「彼氏に買ってもらえよ^^……」

卓哉「で、アレなんなの？」

赤目「あれはな、お前を変える装置なんだよ」

卓哉「f m……」

赤目「過去に行つて昔のお前に遭遇して現在を変えて来いよ」

卓哉「つまりタイムマシンなの？」

赤目「まあ、そんなところ」卓哉「これあれば競馬とかで大金持ちぢやん」

赤目「そういう使い方も良いけど人生そのものを変えようぜ」
「底辺すぎて見てられないわ」

卓哉「^^;」

柚希「私もソレほしいー」

赤目「お前わ悪用するから駄目だわ」

「ぢゃ説明すんぞー」

卓哉「あい」

柚希「ちっ」

〈説明後

赤目「長かつたけどこんなところかな」

卓哉「おつかれさま」

「休日の日に使ってみるねー」

「ありがとう」

赤目「良い人生歩めると良いな」

↳数日後↳卓哉「おはよう」

柚希「おはよ」

卓哉「仕事も終わったし明日わ休日だー」

柚希「なにすんのー？」

卓哉「んー？明日わパチンコかなあ？」

柚希「またかよ。もうやめなよー」

卓哉「無理^^;」

赤目「お、来てたんか。ちょっと席を外してたから気づかなかったわ」

「てかアレさっさと使えよ？まだ使ってないだろ？」

卓哉「あつ。忘れてた。」

赤目「しねえええええ」

卓哉「^^;」

「明日休みだし明日使っよ」

（翌日）

あー 寝過ぎたわ

昼メシ作ってないのか糞ババア

まあ仕方ない。

今日は昼メシ無しで良いや。

あー、今日こそ赤目さんから貰ったモノ使わないとなー

タイムマシンとか胡散臭いけど（笑）

赤目さんにはお世話になりっぱなしだなー

今でこそ働いてるけどさ、それまで長いこと無職やってたんだ。

毎日毎日寝食以外ネットゲやりっぱなし。

その時は別のネットゲだったんだけどね。

赤目さんとの知り合ったきっかけとなるネットゲだね

ある日みんなから話があると呼ばれたんだ。

内容は簡単に書くと働け。

前々から言われてたんだけどね

今回は本気で言ってるみたいだったので真剣に考えて就職活動したんだ。

もうゲームやれないようにアイテムとかはあげたりしてね。

そして なんとか就職できて 今に至ります。

昔のこととかどうでも良いよね！

とりあえず起動してみます。

時代はどうしようかな？

赤目さんは中学生のお前に会って来い っていってたけど・・・

んー、小学生で良いや

よしっ。セット完了

起動！

小学生編

ん？ここは？

すごく見覚えあるんだけど・・・

！！！！！！

今の俺んちが会った場所だ

周りが微妙に違うけどそんなに違うくない！

ちょっと遠いけど歩いて前の家までいくかな

ていうかマジでタイムマシンじゃん！

スゲーな赤目さん。

時間は…14時か

まだ学校終わってないだろうし
腹減ったー

何か食うことにするかな

この辺りだとコンビニとマックと牛丼屋が。

…そこに見えてるし牛丼で良いや

く牛丼屋にてく

店員「いらっしやいませ!」

卓哉「牛丼並一つ」

店員「かしこまりました!」

・・・

店員「お待たせいたしました。牛丼並です」

卓哉「ありがとう」

「モグ…モグ………ゴクン」

「お勘定お願いします」

店員「はい！牛丼並一つで400円となります」

卓哉（なんで昔のが今より高いんだよ・・・）

卓哉「はい、千円で」

店員「・・・」

「何ですかコレ？」

卓哉「え？なにって・・・千円だけど？」

卓哉（あっ！ヤベーぞ。デザイン変わったんだっ！）

卓哉「間違えました。すみません。500円をお願いします」

店員「100円のお返しです」

卓哉「ごちそうさまでした」

店員「ありがとうございましたー！」

ガチャッ

ふう、焦ったわ

そつえば紙幣変わったんだよな。

うっかりしてたわー。

新札抜くと手持ち いくらになるんだろうかな？

・・・232円か

缶ジュース二本も買えないじゃん。

っていつか牛井屋で正解だったな

もし違う場所行ったら無銭飲食ちゃん！

あの店員も何やら怖い目で見てたし。

もうあの店には行けないなあ・・・

って15年以上前だから関係ないのか。(笑)

確かによく考えたらあの店まだピカピカだったし。

。今ぢゃ結構ぼろいもんね

・・・あれっ？

今のがキって。

やっぱり。小学校のクラスメイトだ！

クラスメイトが帰宅してるって事は俺も帰宅してるみたいだな。

急いで歩くかな。

）数十分後

なかなか見当たらないな。おっそいな自分。

まさか交通事故や誘拐?!

そんなわけないですよ。そんなところあったら覚えてるわ(笑)

おっ　なんか汚いガキンチョが来たぞ。俺ですけどね。

大人卓哉「おーい」

子供卓哉「何?おっさん」

大人卓哉「おっさん言うな!

お兄さんって言葉よ」

子供卓哉「おっさんはおっさんだし」

大人卓哉「まあ良いや。

お兄さんは未来から来たお前なんだよ」

子供卓哉「子供だからってバレバレな嘘つくなよ」

「俺がこんなチビな訳ないし。

クラスでも身長おつきいもん」

大人卓哉「身長は中学生で残念ながら止まるんだよ。」

「残念でしたー。」

お前は俺以上に大きくなれません。」

子供卓哉「おっさんと自分違うからおつきくなるもん」

「ってか早く帰りたいんだけど。」

大人卓哉「ジュースでも買ってやるから少し話でもしようぜ」

子供卓哉「わーい」

大人卓哉「知らないおっさんについていっっちゃ駄目だろ？」(笑)

子供卓哉「知らないおっさんじゃなくて自分だもん」

大人卓哉「都合良いなお前」

子供卓哉「俺ファンタ!!!」

大人卓哉「はいはい」

「自販機は100円か」

二本分あるし俺もファンタグレープっと」

子供卓哉「ありがとう」

おっさんも同じのかよ」

大人卓哉「だって同じ人物だし好みだって一緒に当然だろ」

子供卓哉「ふーん」

大人卓哉「とりあえず公園にでも行こうか」

子供卓哉「はぁーい」

大人卓哉「お前なんで帰り遅かったん？」

子供卓哉「居残り！」

大人卓哉「宿題くらいやれよ！真黒先生にいつも怒られてたよな、
そっつえば」

子供卓哉「なんで先生の名前知ってるの？」

大人卓哉「だからお前自信だからわかるんだよ」

子供卓哉「ぢゃあ誕生日は？」

好きな食べ物、嫌いな食べ物は？

ペットの名前は？

」

大人卓哉「質問攻めかよ（笑）

9月15日

好きな物は肉

嫌いな物はピーマン

ペットなんて居ないだろ？」

子供卓哉「全部合ってる！！！ペットいない事まで知ってるんだね
もしかして本当におっさんは俺なの？」

大人卓哉「やっと信じたな（笑）」

大人卓哉（こんなんでも信じちゃうとか甘いな、自分）

大人卓哉「ペットはなー、もうちょいしたらネコ拾うぞ」

子供卓哉「うん。

マジか！ネコ可愛い？

でも将来の自分がこんなのとか凹むわー」

大人卓哉「こんなのとかいうなよ（笑）うちのネコは特別可愛いぞ」

子供卓哉「で未来の俺は何しにきたの？」

大人卓哉「んー、実験みたいなものかな？」

子供卓哉「実験って？」

大人卓哉「俺さ、この後に中学生の俺にも会いに行くんだよ。その前にタイムマシンの実験みたいなもんだよ」

子供卓哉「中学の俺に何か用事があるの？」

大人卓哉「あいつクズだからちょっと説教しに行くんだよ」

子供卓哉「俺クズになっちゃうの？将来は消防士じゃないの？」

大人卓哉「いや、今から頑張ればクズにもならないし消防士にもなれるさ」

とりあえず宿題は毎日しような」

子供卓哉「はあーい。」

俺、消防士ぢやないんだったら今は何してるん？」

大人卓哉「何してるかは秘密だな」

(トラックの運転ちゃんですれまでは無職だったなんて夢を見てる少年に言えないよね)

子供卓哉「えーケチ!!!」

大人卓哉「将来なつてからの楽しみ」

それに今からしつかりとすれば消防士にだってなれるんだぞ？

俺はなれなかったがまだお前にはチャンスがいくらでもあるんだよ。

」

子供卓哉「なら宿題やるつてみようかな」

大人卓哉「おー偉い偉い。

消防士の試験は難しいから勉強しつかりとするんだぞ。

体力だつているんだからしつかりと鍛えような」

子供卓哉「俺体力なら大丈夫だよ！クラスでも足速いもん！」

大人卓哉「なら体力はこのままでも大丈夫だし後はしつかりと勉強もする事だな。」

(本当は中学から運動オンチになつちやうんだけどね・・・)

子供卓哉「はぁーい。」

大人卓哉「もう遊びに行ってきた良いぞ？まだ門限前だろ」

子供卓哉「あ！！！！！今日は遊ぶ約束してたの忘れてた！みんなでボンバーマンやる予定だったんだ。」

大人卓哉「懐かしいな（笑）」

「気をつけて行ってこいよ」

子供卓哉「はぁーい」

大人卓哉「・・・行ったか。」

元氣そうだったな。

そういえばあの頃は毎日が楽しかった。

ふう・・・

「ぢゃあ俺もそろそろ次に行くか。」

「ってか元の位置まで戻るのめんどくさいな。ここで使うか。」

起動！！！！！」

・・・やっぱり。時間移動しかできないのね。

とりあえず帰宅すつかな。

↓帰宅後、ネットにて

赤目さん居るかな？
居た居た。

卓哉「おはよう」

赤目「おはよう」

柚希「おはよー」

卓哉「いつてきたよ！」

赤目「どっか変わった？」

卓哉「特に！」

赤目「変わらないのかな？」

卓哉「俺、小学生の時に会いに行ってきただけだから変わらなかっただけかも」

赤目「中学時代と会えって言ったやんか」

卓哉「信じてないから適当に小学生時代選んでみた^^」

赤目「^^;」

柚希「つかマジでタイムマシンなのおおお???.?」

「ずるいいいいいいいい」

「私も欲しいから作ってよ。お兄さま^^」

赤目「だから悪用するから駄目だって言ってるんだろ」

卓哉「今日はいっぱい歩いて疲れちゃった><」

「次の休みに行くねー」

赤目「あいよー」

柚希「たっくんだけずるiiiiiiiiiiiiiiii」

卓哉「^^;.」

赤目「柚希づるぞい」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3910ba/>

ライフメーカー

2012年1月10日08時48分発行